

## 議 事 録

- 1 会議の名称 平成28年度第1回水戸市都市交通戦略会議利用促進部会
- 2 開催日時 平成28年10月14日(金) 午後1時30分から午後3時10分まで
- 3 開催場所 水戸市議会臨時庁舎2階 第3委員会室
- 4 出席した者の氏名
  - (1) 委員  
(名簿順) 茨城大学工学部都市システム工学科 熊澤 貴之  
東日本旅客鉄道(株)水戸支社総務部企画室 小川 郁夫  
鹿島臨海鉄道(株) 守谷 孝行  
茨城交通(株) 飛田 潔  
関東鉄道(株) 本多 佳夫  
関鉄グリーンバス(株) 長谷川 貞仁  
ジェイアールバス関東(株)水戸支店 佐藤 亮  
(一社)茨城県バス協会 澤島 政志  
(一社)茨城県ハイヤー・タクシー協会 鬼澤 秀通  
公募市民 米倉 彩乃  
公募市民 根本 貴彬  
公募市民 鹿倉 榮  
国土交通省関東運輸局茨城運輸支局 飯塚 正芳  
水戸市市長公室 石井 賢(代理)  
水戸商工会議所 三上 靖彦  

※代理出席1名, 欠席2名
  - (2) 事務局 **【水戸市市長公室交通政策課】**  
課長 須藤 文彦, 課長補佐兼係長 大嶋 実, 主幹 小林 健典
- 5 会議次第
  - (1) 開 会
  - (2) 議 題
    - ア 公共交通マップの作成について
    - イ その他の重点施策の実施状況について
  - (3) その他
  - (4) 閉 会
- 6 配布資料
  - (1) 平成28年度第1回水戸市都市交通戦略会議利用促進部会資料
  - (2) 水戸市公共交通基本計画 実施プログラム
  - (3) 公共交通マップ(事務局イメージ)

7 内 容

	<p>※水戸市都市交通戦略会議規約第9条第4項に基づき、部会長が進行を務めた。</p>
	<p><b>1 開 会</b></p>
部会長	<p>【部会長あいさつ】 今年度1回目の利用促進部会となります。昨年度は、水戸市公共交通基本計画について議論を行いました。今年度は、計画に基づき、具体的な事業の実施について議論していくこととなります。今回から初めて参加される委員さんもいらっしゃいますが、きたんのないご意見をいただいきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>[公募手続により新たに就任した委員の紹介]</p>
部会長	<p>まず、本日の出席者数について事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、定数17名中15名の委員の方へ出席又は代理出席をいただいております。委員の過半数の出席をいただいております。</p>
部会長	<p>事務局からの報告のとおり、過半数の出席であるため、水戸市都市交通戦略会議規約第7条第2項の規定を準用し、本会議は成立していることをご報告します。 また、本日の会議の議事録につきましては、水戸市ホームページ上で公開する前に各委員宛て送付の上、ご確認いただきたいと考えていますので、よろしくをお願いします。</p>
	<p><b>2 議 題</b></p>
	<p><b>(1) 公共交通マップの作成について</b></p>
部会長	<p>それでは、議事に入ります。 まず、今年度、国の補助金を活用して作成することとしております「公共交通マップ」について、事務局から説明していただき、その後、皆様からご意見をいただけてまいりたいと考えております。事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>[部会資料1, 2ページ, 実施プログラム, 公共交通マップ(事務局イメージ)に基づき, 事務局から説明]</p>
部会長	<p>ここで、公共交通マップの他市の事例をご覧ください。時間を設けます。事務局をお願いします。</p>
事務局	<p>[他市の事例確認]</p>
部会長	<p>それでは、ご意見をいただけてまいりたいと思います。</p>
委員	<p>観光ボランティアをしており、偕楽園で案内をしてよく聞かれる質問は、水戸駅行きのバスの乗り場はどこか、偕楽園からバスに乗るときにどの停留所へ行ったらいいのかということです。茨城交通と関東鉄道があって、停留所も複数あるので、どこを案内するのがいいのか悩むところです。 対象範囲については、観梅の時期は、千波湖や近代美術館に行きたいという方</p>

	<p>が結構多いので、その二つは入れてほしいと思います。</p> <p>また、偕楽園と弘道館の間を移動するに当たり、どう行くのが最適か分かるような案内があると非常にありがたいと思います。</p> <p>路線図については、バス事業者別の色ではなく、方面別の色にした方がいいのではないかと思います。初めて水戸に来る方は、この方面に行くにはどの停留所でどのバスに乗ればいいのか分かれれば十分なので、そのような視点で作成した方が観光客にとっては分かりやすいと思います。</p>
部会長	<p>バス乗り場については、是非公共交通マップに入れてほしいと思います。水戸駅の偕楽園行きのバス乗り場は、バス事業者により異なるのですか。</p>
委員	<p>異なります。</p>
委員	<p>4番乗り場と6番乗り場です。</p>
部会長	<p>分かりやすさはどうですか。</p>
委員	<p>今は「水戸漫遊1日フリーきっぷ」があれば、どちらのバスも利用できますが、茨城交通が4番、関東鉄道が6番と乗り場が分かれているため、利用者からは分かりづらい、不便だ、同じ方面に行くのになぜ同じ乗り場でないのかというご意見を以前からいただいています。</p>
部会長	<p>降りる場所も異なるのですよね。</p>
委員	<p>関東鉄道は、偕楽園の下、偕楽園臨時駅の前にある駐車場のところなので、茨城交通の停留所とは異なります。</p>
部会長	<p>乗り場を分かりやすく伝えることは大事なので、是非それはやっていただきたいと思います。</p>
委員	<p>水戸駅で偕楽園行きのバス乗り場が分からないという人は、たぶんいないのではないかと思います。茨城交通の乗り場には「偕楽園」とできるだけ大きく書いてありますし、観梅の時期は、関東鉄道も偕楽園行きの補助看板を設置して分かりやすくしています。</p>
委員	<p>これまでの水戸漫遊1日フリーきっぷは、茨城交通でしか使えなかったもので、行きは茨城交通を利用して、帰りに偕楽園下で関東鉄道に乗ろうとしたら乗れないということが起きていました。「偕楽園」という名称の停留所は2つしかなく、今は茨城交通の停留所でも関東鉄道の停留所でも水戸漫遊1日フリーきっぷを利用できるので、以前よりは案内しやすくなったと思います。</p>
部会長	<p>偕楽園の案内については、是非工夫していきたい部分だと思います。</p> <p>公共交通マップに載せる施設についてですが、さきほどご意見のあった千波湖、近代美術館はあった方がいいと思いますし、他にも載せた方がいいという施設がありましたらご意見をお願いします。</p>
委員	<p>初めて来た方が地図上で目的の場所を探すのは難しいので、盛岡市のマップのように、施設名の文字を施設の種類によって色分けし、地図上でも縦軸、横軸で、例えばA-1というように施設の場所を探せるようにすると分かりやすいと思います。水戸駅の乗り場案内、施設の最寄りの停留所、所要時間なども入れた方が、初めて来た人には分かりやすいと思います。</p>

	<p>マップの折り方については、特許の関係でお金がかかってしまうかもしれませんが、「ミウラ折り」だと保管もしやすいし、出し入れもしやすいと思います。</p>
委員	<p>公共交通マップは何部くらい作るのですか。</p>
事務局	<p>どのような仕様にするかによって部数が異なってきます。</p>
委員	<p>事務局イメージのA3サイズより大きいものにするという考えはありますか。</p>
事務局	<p>考えはございます。</p>
委員	<p>費用はいくらを想定していますか。</p>
事務局	<p>70万円弱です。少し超えるくらいは許容範囲と考えております。</p>
委員	<p>誰のために作るのですか。</p>
事務局	<p>普段路線バスを利用されていない市民向けであり、同時に観光客向けでもあります。</p>
委員	<p>路線図に停留所名を載せただけでは分からないので、系統まで入れられるといいのですが、今回は予算的にも難しいですよね。</p>
事務局	<p>系統を入れるとしても、情報を絞らないと、使いづらいものになってしまうと思います。</p> <p>本日提示しているものはあくまで事務局のイメージなので、これをたたき台に検討していくということで考えてもらえればと思います。現在、近代美術館の記載はありませんが、関東鉄道さんのバスで行けることが分かるように表記するなど、本日いただいたご意見を踏まえて、いろいろな工夫ができると思います。</p>
委員	<p>茨城交通では、毎朝水戸駅で案内を行っていますが、その際によく聞かれる行き先としては、偕楽園はもちろんですが、京成百貨店、水戸協同病院、常陽銀行本店、東町運動公園、茨城県看護協会がある茨城県保健衛生会館、千波湖、免許センター。それから、さきほどご意見がありました近代美術館は、観梅の時期に偕楽園で案内をしていると聞かれます。それから弘道館も聞かれます。このような施設をきちんと入れた方がいいと思います。</p> <p>偕楽園については、どの停留所で降りればいいのかをよく聞かれます。水戸観光協会では、「好文亭表門入口」を推奨しております。</p>
部会長	<p>今おっしゃっていただいた施設は載せていくような形で是非考えていただければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>水戸市民も水戸市の観光施設のことをよく分かっていないので、市民向けに作るにしても、施設への行き方や施設の説明があつていいと思います。観光客向けに作るくらい親切な内容にしていいと思います。</p> <p>公共交通マップと言っていますが、バスの紹介しかしないのであれば、バスマップという名称でいいと思います。</p> <p>路線図について、循環しているのか往復しているのか分からないので、それが分かるように工夫してほしいと思います。</p> <p>まちなかに特化するのであれば、背景の地図（ベースマップ）をもっと濃くし</p>

事務局	<p>て、目的地までどう行けばいいのか分かるようにした方がいいと思います。</p> <p>他市の事例をいろいろと見させていただきましたが、これを多くの人は何日使うのだろうと思いました。もしかしたら1日しか使わない人が一番多いのではないかと思います。立派なものを作ればお土産に持って帰る人もいるかもしれませんが、実際の行き先はマップの中の一部分だけなので、簡単にポケットに入れて持ち歩いて、帰りに捨ててしまってもいいくらい気軽に使えるものにしていいのではないかと思います。</p> <p>それから、事務局イメージの裏面については、1枚で済むというメリットがあるのかもしれませんが、バス協会さんが作成した路線図があるのであれば、わざわざ載せる必要はないのではないかと思います。</p> <p>タイトルは仮で「公共交通マップ」としてあるものです。例えば、偕楽園のどこでタクシーに乗ることができるのか、観光ボランティアの方がご案内する際にも使えるということを考えると、タクシー乗り場の情報は必要です。また、JRさんや鹿島臨海鉄道さんの乗り場案内等も入れていくことになり、必ずしもバスの情報に限ったものにはならないと考えております。今は暫定で公共交通マップとしておりますが、もっとよい表現があるかもしれませんので、もしよい名称がありましたら、是非教えていただきたいと思います。</p> <p>バス路線の運行方向につきましては、偕楽園周辺は特に悩ましいところでして、茨城交通さんの表門入口を通る路線は、往復はせず、片道のみなので、矢印などで運行方向を示す必要があると考えております。</p> <p>停留所から主要な施設へのアクセスにつきましても、マップの余白等をうまく活用して、分かりやすく表示できればと考えております。</p> <p>また、八戸市のマップは、特許を持っている「ミウラ折り」という折り方で、大変素敵なマップなのですが、八戸市ではこれを1冊100円で作ったと言っております。このような素敵なマップを作ってお土産に持ち帰ってもらうというよりは、1日でぐしゃぐしゃになるくらい使い込んでいただけるようなマップの方がいいのではないかと感じています。そうすると、おのずと紙質も京都のマップのように、チラシのような薄手のものになってきます。ぐしゃぐしゃになったらまた新しいものを受け取るというような使い方もあるのではないかと考えております。</p>
部会長	他にいかがでしょうか。
委員	事務局イメージの停留所の表記の仕方だと、バスが止まるのか、通過するのか分からないため、路線の上に停留所を表記した方が、初めての方には分かりやすいと思います。また、市内循環線も矢印を入れるなどの工夫が必要だと思います。
部会長	<p>停留所は、道路の両側に存在すると思うので、それを示すにはどうしたら一番よい表記になるのかを考えてみてほしいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>停留所の位置が道路の上下線ですれていところがあり、バスで来たときに降りる位置と帰りに乗る位置が異なり、混乱することが考えられるので、そのような停留所については、正確な位置を表記した方がいいのかもしれませんが。</p> <p>時刻表については、全部を載せるのは難しいので、QRコード等で案内するのがいいと思いますが、初めての場所だと、複数のバス事業者のQRコードが並べられているだけでは、どのバス事業者がどれだけの本数を運行しているか等が分からないので、どのQRコードを調べればいいのか分かるような表現にした方がいいと思います。例えば、偕楽園について見ると、さきほどお話がありましたように、偕楽園から近代美術館に行きたい場合は、関東鉄道のバスなら直接行けるの</p>

	<p>で、それを案内するとか、表門の方に行きたい場合は、茨城交通のバスを案内するなど、QRコードをただ列挙するだけでは分かりにくいので、どれを調べるのが最適か分かるような表現ができたらいいのではないかと思います。</p> <p>また、水戸に長い時間滞在する方ばかりではなく、例えば、2時間だけ時間ができたので、偕楽園に行ってみようと思った場合に、時間内に行って帰って来られるのか不安になると思います。バスで偕楽園まで何分くらいなのか、バスの本数はどれくらいなのか、その辺が分かれば、観光の段取りが組めると思います。大体の所要時間や本数が示せるといいのではないかと思います。</p>
部会長	<p>是非検討していただければと思います。 他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今回、市民向けと観光客向けのマップにするということで、観光客にとっては金沢市のようなマップがシンプルで分かりやすいと思います。金沢市では、なぜこのように観光客向けに限定したマップが作れたかという点、これとは別に全体を示した詳細な路線図があるからです。そのため、観光客に限定したシンプルなマップを作れたのだと思います。市民向けと観光客向けで情報を分けた、方向性の異なるマップを2つ作るという考え方もあると思います。</p>
部会長	<p>事務局イメージでは、裏面に水戸市全体のバス路線図が示されていますが、バス協会さんが作成した路線図があるので、ここには載せないこととして、金沢市のように他の情報を載せていくというやり方もあると思います。</p> <p>様々な情報を入れ過ぎてしまうと、見づらく分かりにくいものになってしまうと思います。本日いただいたご意見を踏まえて、一度マップを作るのだと思いますが、最後には見やすくするために引き算をします。情報を抜いていきます。抜いていくものの一つに裏面の全体の路線図が考えられます。バス協会さんが作成した路線図があるので、全体はこれで見てもらうという考え方もあるかもしれません。</p>
委員	<p>あれもこれも載せるというのは難しいと思います。全体の路線図はバス協会さんが作成したものががあるので、今回作成するマップと一緒に掲示して、全体を知りたい人はバス協会さんのマップを見てもらうという考え方もあると思います。</p> <p>市民向けでもあるということであれば、市民の方が知らない水戸市の良さをバスを使って再確認してもらおうというスタンスで作成してみてもいいのかもしれないと思います。</p> <p>事務局がイメージの範囲を絞ったのは、ここに人を集めたい、商業施設を集めたい、再度ここをにぎわわせたいというねらいがあるのかもしれませんが、水戸漫遊1日フリーきっぷを基本としつつ、その範囲から少し外れていても、よい場所があれば、そこへ行くためのバス路線を追加してもいいのではないかと思います。なかなか難しいとは思いますが、次の展開として茨城交通、関東鉄道に、その範囲まで水戸漫遊1日フリーきっぷの対象を広げてもらえれば、より便利になると思います。</p> <p>また、ベースマップにとらわれ過ぎているのではないかと思います。ベースマップを主要道路だけにしてみるとスペースが生まれ、入れられる情報も増えるのではないかと思います。</p> <p>何を観光客に紹介したいか、何を市民に再確認してほしいか、その辺をよく考えた方がいいのかなと思いました。</p>
部会長	<p>今のご意見等を踏まえながら、全体像を考えて、載せるべきところは載せて、引くべきところは引いて、分かりやすいマップを作成していけばいいのではないかと思います。</p>

委員	<p>裏面に全体の路線図を載せるとなると、それを分かりやすくするために、あれもこれも載せなければならなくなるので、対象を観光客に絞って、裏面は、観光施設がどういう施設であるか紹介するための情報ではなく、そこへ行くにはどこで乗ってどこで降りるのかというバスの情報をその施設の写真等と一緒に載せた方が、観光客には親切ではないかと思います。全体を知りたい方は、バス協会さんが作成したのを見ていただければいいのではないかと思います。</p> <p>市民の方にまちなかの施設等を知ってもらうための情報を載せてもいいのではないかというご意見が出ておりますが、市民の方は、事務局イメージの水戸漫遊1日フリーきっぷの対象範囲外に住んでいる方が多くいます。そのため、自宅から対象範囲内に来るための情報が必要であり、裏面から全体の路線図を抜いたとすると、その情報はなくなるので、市民の方がまちなかに来たくするような情報や、まちなかに来てからどう巡るかという情報を載せるには、あまり向かないのではないかと思います。水戸漫遊1日フリーきっぷは、せっかくバス事業者3社で使えるようになったのに、水戸駅でしか買うことができません。一度水戸駅まで行かなければならないので、市民にとっては使いにくいものだと感じます。水戸漫遊1日フリーきっぷを意識したものにするのであれば、市民向けにはならないのではないかと思います。市民の方に市内の観光施設を知ってもらうためのパンフレットは、すでにたくさんあるので、改めてそのような情報を、公共交通を利用してもらうためのマップに載せる必要はないと感じます。</p> <p>私は、今年の梅まつりの際に、どのようにすればお客さんが効率よく施設を巡ることができるのかを考えて、自分のブログに案内を載せたのですが、必要な情報は、どこで、どこ行きのバスに乗って、どこで降りるかです。それを施設ごとにきちんと書く必要があると思っています。現状で実際にバスを案内しようとすると、とても大変だと感じました。</p> <p>市民の方は、友達などが観光で水戸に来た際に、今回作成するマップを使って案内するという使い方ができると思います。</p>
部会長	<p>水戸漫遊1日フリーきっぷを購入できるのは、水戸駅だけなのですか。</p>
委員	<p>そうです。以前は梅まつりの時期だけ、とある施設で販売していましたが、売れた枚数は1桁でした。きっぷはお金を扱っているのと同じですので、厳重に管理する必要があります。また、きっぷを売るに当たっては、ある程度バスや施設の情報を分かっている必要があります。そのような中、手数料はお支払いしておりますが、数枚しか売れない状況で売ってくれるのかということ、もう嫌だと言われてしまいました。最終的には儲からないので嫌だということにつながってしまうのですが、いろいろと聞かれますので、施設、ダイヤ、運行ルート等を分かっている方でないと、売るのはなかなか難しい状況です。</p> <p>販売する際は、偕楽園の地図、偕楽園の時刻表、停留所の位置が分かるものを、関東鉄道分と茨城交通分の両方を付けてお渡ししています。梅まつりの時期は、観光客がたくさん来るので、初めての方も多いい中、分かりやすい案内に努めています。行きは茨城交通で、帰りは関東鉄道を利用するという方も増えています。水戸駅以外の売り場については、バスのことがよく分かる方で、ご協力いただける方がいましたら、是非お願いしたいと思っています。</p>
委員	<p>そうすると、水戸漫遊1日フリーきっぷは、やはり観光客向けということになるのでしょうか。</p>
委員	<p>観光客ではない方も利用しています。例えば、水戸駅周辺から大工町周辺の幼稚園にお子さんを送って行く方が利用しています。送って行くだけでなく迎えにも行くということで、1日4回バスに乗ることになるので、水戸漫遊1日フリー</p>

	<p>きっぷを利用しています。</p> <p>3社共通で利用できるようになり、また、水戸駅の観光案内所で案内してもらえるようになって、これまでの1.5倍の利用となっています。今後も利用を増やしていきたいと考えています。販売に協力してくれそうなどころがあれば、是非ご紹介していただきたいと思います。</p>
委員	<p>ジェイアールバス関東さんはなぜ利用できないのですか。</p>
委員	<p>偕楽園が基本になっている切符であり、ジェイアールバス関東さんは偕楽園を通る路線がないからです。</p> <p>ちなみに、水戸漫遊1日フリーきっぷの券面が、10月1日から新しくなり、現在は英語表記がなされております。</p>
委員	<p>水戸漫遊1日フリーきっぷを買った方に渡しているという偕楽園の時刻表を、マップに載せた方がいいのではないですか。</p>
委員	<p>それは便利になりますし、あった方が親切だと思いますが、バス事業者は会社の事業計画に基づき、ダイヤ改正を行うことがあります。時刻表を載せた場合、その際にマップも修正しなければならなくなります。そこが問題です。古いダイヤを載せたマップが出回っていると、お客さんに迷惑をかけることになるので、長く使うものについてはダイヤを載せるのは難しいと思います。短期のものであれば、別に作ってマップと一緒にお渡しするというようなやり方になると思います。</p>
委員	<p>偕楽園のバス乗り場を案内する図もあるといいと思います。</p>
部会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>路線図の見方について、バス協会さんが作成した路線図は、バス事業者ごとに色を分けています。ジェイアールバス関東や関鉄グリーンバスは分かりやすいのですが、茨城交通や関東鉄道は目的地に行くためにどのバスに乗ればいいのか分からないと思います。利用者にとってはどのルートを通るのか分かるようにした方がいいと思いますので、作るのは大変かもしれませんが、バス事業者ごとに色を分けるのではなく、ルートで色を分けた方がいいと思います。</p>
委員	<p>ルート別に色を分けると、おそらく色が足りなくなると思います。同じルートを通るところは同じ色にして、枝分かれするところから色を変えるなどの工夫が必要だと思います。</p> <p>系統番号の整理もしたいと考えていますので、バス路線の再編を行ってから色分けをした方がいいと思います。そうすれば使う色も少なく済むはずですが、今の段階で、そこまでの路線図を作成するのは難しいと思います。</p> <p>常陸太田市は、市全域を再編して、全部の系統に系統番号を付けました。</p>
部会長	<p>長期的には方面別に考えていくことは必要だと思いますし、今回は範囲を絞って作成するので、その範囲内であればできないことはないかもしれません。ルート別、方面別に作成するというのも考えながら進めていければいいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>水戸漫遊1日フリーきっぷを買っていると、今回作成するマップをもらえるようにするという考えはあるのでしょうか。</p>



事務局	<p>茨城交通さんの販売窓口で、水戸漫遊1日フリーきっぷを買うと、簡単な時刻表等がもらえます。そのような形で、バス事業者さんのご協力がいただけるということであれば可能であると考えております。</p>
委員	<p>梅まつり期間中に1万枚くらいは売れているので、その際はマップが相当数必要になります。</p>
委員	<p>京都では、一日乗車券を買うと、さきほど他市の事例の中にありましたが、バスマップがもらえます。このマップは分かりやすく、行きたいところに行くためにはこれに乗ればいいというのが、すぐ分かります。一緒にマップももらえれば、観光客にとってはいいのかなと思います。</p>
委員	<p>停留所から主要な施設までの行き方、おおよその所要時間はあった方がいいと思います。また、バスを降りてから施設までのルートもベースマップが正確な地図であれば表記した方がいいと思います。その際は、地図にスケールを付けた方がいいと思います。</p> <p>また、水戸漫遊1日フリーきっぷに英語表記が加わったとのことですが、停留所名がローマ字で表記されています。バスの車内アナウンスは音で聞くので、その停留所名が流れてきたら降車ボタンを押せるようにした方がいいのかもしれませんが、一方で、ローマ字表記は案内として適当なのかなとも感じます。多言語表記する際は、停留所の名称も含めて検討していかないと質を上げていけないと感じました。</p>
部会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>他に質問がないようですので、本日皆様からいただいたご意見を踏まえながら、私と事務局で調整させていただき、バス事業者さんにもご確認いただきながら、公共交通マップを作成してまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>[異議なし]</p>
部会長	<p>それでは、そのようにさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p>
<p><b>(2) その他の重点施策の実施状況について</b></p>	
<p>次に、「その他の重点施策の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。</p>	
<p>[会議資料3，4ページ，実施プログラムに基づき，事務局から説明]</p>	
<p>ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。</p> <p>ないようですので、本日の会議は以上となります。進行を事務局にお返しします。</p>	
<p><b>3 閉会</b></p>	
<p>[閉会のあいさつ]</p>	